

# DAIMAN通信



新年明けましておめでとうございます  
皆様の御多幸と事業発展を祈念申し上げます

株式会社 大萬  
代表取締役 守行 謙治

旧年中は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

今年も皆様のおかげで無事に新しい年を迎えることができました。

ご承知のように今年は丑年です。丑は十二支の二番目で、現在の時刻でいえば、午前1時から午前3時までの2時間を指し「草木も眠る丑三つ時」というのは、午前2時から2時半の30分間です。

更に、今年「辛丑（かのとうし）」です。辛は、十干（じっかん）の八番目で、「草木が枯れ、新しい芽吹きを準備している状態」を、丑は「種から芽が出ようとする状態」を表わすとされています。

さて、牛と人間との関わりは古く、数千年の昔から家畜化してきたとされています。日本でも、昔から牛を農作業や運搬に用いられてきました。特に米を主食とする私たち日本人にとって、牛は米作りのための貴重な労働力であり財産でした。こうしたことから、牛はまるで家族のように大切にされてきました。いまでも、皮革用や食用として、牛は私たちにとって欠かせない存在です。

しかし牛には、のろのろとした歩きぶりから、「鈍重」といったマイナスのイメージがあります。「強情」「融通がきかない」といった印象をもつ人もいるでしょう。「牛」を含むことわざや格言にも、そうした意味合いのものが多いようです。しかし、見方を変えれば、これらは一転して長所にもなり得ます。最初の一步を踏み出したあとは、いかなることがあろうとも、絶対に歩みを止めることなく、しっかりと大地を踏みしめて、のろのろと歩き続ける牛は、企業にとって今まさに必要とされている姿勢であり、一步一步「進化」へと着実に進めていかねばならないと考えております。

新型コロナウイルス感染症の脅威と向き合ってから1年が経とうとしていますが、収束への道筋は未だ見えず、戦いはまだまだ続きそうです。感染症の克服に向けては、たとえその歩みはのろのろしたものと思えても、しっかり感染予防策を講じて参ります。

一方で、社業においては守るばかりでなく、コロナ後も見据えて、わたしたち大萬は既成概念にとらわれることなく、新しい成長基盤の確立に向けて、勇気を持って一步を踏み出し、進化の年とし、事業を緩やかであっても拡大して継続していく所存でございます。

本年も社員一丸となり全力を尽くして参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 2021 イベントご案内

- 3/17(水) ~ 19(金) ジャパン建材フェア【オンライン】
- 5/8(土)、9(日) 丸産業 すまい展（高田木材協同組合）
- 7/3(土) ~ 5(月) 山善どてらい市（インテックス大阪）
- 11/7(土)、8(日) 丸産業 住設建材まつり（インテックス大阪）

※2020年12月の情報に付、変更がある場合があります



株式会社 大萬